

D I C、新事業創出を加速

CVC積極活用 3年で4社に出資

DICは、21年までの3カ年中期経営計画「D I C 11」で基本戦略の一つに新事業の創出を掲げ、エレクトロニクス、オートモティブ、次世代パッケージング、ヘルスケアの4領域で取り組みを加速する。コーポレートベンチャーキャピタル(CVC)を積極的に活用しており、新事業開発や協業によるビジネス構築を目標とした戦略投資では、アリーステージのスタートアップ企業を対象とし、昨年までの3年間で4社に出資した。

CVCでの主な探索分野はサステナブル材料&ソリューション(リサイクルシステム、バイオ由来材料、生分解性材料、包材ソリューション、省エネ・省資源化)、ナチュラカラー&ニート

の全製造拠点が生産活動として在勤勤務が特別措置を実施していることに加え、引き続き従業員と「引き続き従業員と」の安心を最優先に措置を講じている。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて1月下旬から中国当局の要請を受けて生産活動を見合わせていた。関連して日本法人での新型コロナウイルス対策

リンション(天然着色材料、機能性食品、化粧品)と原材料、高機能材料、炭素繊維強化樹脂、液晶関連材料、機能性インキ、接着剤、添加剤・コーティング、3Dプリンタシステム)の三つ。16年に新事業企画部内へCVCを設立し、米国と日本を拠点に合計5回で活動を開始した。スタートアップ企業探索の対象地域は北米、欧州、日本、イスラエル、マナ

ポリオール 微細藻由来品開発へ
DICは、分子レベルで材料を設計するバイオベンチャーの米チェッカー・スポート社(カリフォルニア州)と協業で接着剤やコーティング剤、印刷インキ、潤滑油分野の植物の生産するオイル(トリグリセリド)に注目し、遺伝子組み換えに

ナの影響が続けば、塩素がネックとなり、定修明け後に予定通り電解設備が高稼働で推移した結果、カセイソーダの余剰断を許さない(大手メーカー)。こうした側面からカセイソーダのタイ感には伸びる可能性がある。一方で、カセイソーダの価格や需要が想定内

三井化学は、タイで半導体パッケージ基板向け銅張積層板の材料であるプリプレグ(紙やガラスなどの基材に樹脂を含ませたシート)の生産設備を増設する。10月に着工、22年4月に営業運転を開始する予定。半導体市場拡大に伴う需要増に対応する。

超延伸PPシート開発
三井化学東セロは、延伸倍率が極めて高い超延伸のポリプロピレン(PP)シートを開発した。シート厚は200〜300ミクロンで、耐衝撃性と剛性に優れるのが特徴。自動

研究開発助成など
3件の公募開始
金型技術振興財団は、金型技術に関する研究開発や人材育成を支援する3件の助成事業の公募を開始した。「研究開発助成」は助成期間が来年の21年4月から1年間、助成総額は1500万円、助成金額は1件につき300万円以内。

ストックキングの冷却効果を初解明
旭化成は、着用品として冷却効果を得られるストックキングのメカニズムを世界で初めて定量的に解明した。ストックキング表面に形成される微細な突起構造(リブ)が冷却効果を発揮していることを明らかにした。旭化成は、この論文が英科学誌「ネイチャー」出版グループの学術誌「サイエンス・データ」に掲載された。

属する研究者、中小企業の体熱建形成解析によって冷却ストックキング表面のリブを定量的に数値モデル化し、リブ表面の自然対流の分析を実施。これを解析した結果、冷却効果を顕現するのはマイクロメートルスケールのリブであることが判明した。同社は「繊維や生地の構造により繊維製品に冷却機能を付与できることが明らかになった」として今後、温暖化が進む環境で快適な生活を提供できる繊維製品の開発を進展すると見込んでいる。

住友化学は、自社の樹脂製蓄熱材で繊維と不織布を試験した。これらを時放熱して快適な温度に保つことができる。化学合成が進中のスタートアップ企業への出資などを行っている。エマラルド・テクノロジ・ベンチャーズ社は、18年6月から先端機能材料で共同開発契約を結び、協業を推進している。

住友化学は、自社の樹脂製蓄熱材で繊維と不織布を試験した。これらを時放熱して快適な温度に保つことができる。化学合成が進中のスタートアップ企業への出資などを行っている。エマラルド・テクノロジ・ベンチャーズ社は、18年6月から先端機能材料で共同開発契約を結び、協業を推進している。

住友化学は、自社の樹脂製蓄熱材で繊維と不織布を試験した。これらを時放熱して快適な温度に保つことができる。化学合成が進中のスタートアップ企業への出資などを行っている。エマラルド・テクノロジ・ベンチャーズ社は、18年6月から先端機能材料で共同開発契約を結び、協業を推進している。



張谷廷河社長

ランクセス

中国全拠点で生産再開

日本法人 新型コロナは予測困難

独ランクセス日本法人の張谷廷河社長は15日に開催したオンライン記者会見で、3月11日からランクセスが運営する中国

の全製造拠点が生産活動として在勤勤務が特別措置を実施していることに加え、引き続き従業員と「引き続き従業員と」の安心を最優先に措置を講じている。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて1月下旬から中国当局の要請を受けて生産活動を見合わせていた。関連して日本法人での新型コロナウイルス対策

リンション(天然着色材料、機能性食品、化粧品)と原材料、高機能材料、炭素繊維強化樹脂、液晶関連材料、機能性インキ、接着剤、添加剤・コーティング、3Dプリンタシステム)の三つ。16年に新事業企画部内へCVCを設立し、米国と日本を拠点に合計5回で活動を開始した。スタートアップ企業探索の対象地域は北米、欧州、日本、イスラエル、マナ

ポリオール 微細藻由来品開発へ
DICは、分子レベルで材料を設計するバイオベンチャーの米チェッカー・スポート社(カリフォルニア州)と協業で接着剤やコーティング剤、印刷インキ、潤滑油分野の植物の生産するオイル(トリグリセリド)に注目し、遺伝子組み換えに

ナの影響が続けば、塩素がネックとなり、定修明け後に予定通り電解設備が高稼働で推移した結果、カセイソーダの余剰断を許さない(大手メーカー)。こうした側面からカセイソーダのタイ感には伸びる可能性がある。一方で、カセイソーダの価格や需要が想定内

三井化学は、タイで半導体パッケージ基板向け銅張積層板の材料であるプリプレグ(紙やガラスなどの基材に樹脂を含ませたシート)の生産設備を増設する。10月に着工、22年4月に営業運転を開始する予定。半導体市場拡大に伴う需要増に対応する。

超延伸PPシート開発
三井化学東セロは、延伸倍率が極めて高い超延伸のポリプロピレン(PP)シートを開発した。シート厚は200〜300ミクロンで、耐衝撃性と剛性に優れるのが特徴。自動

研究開発助成など
3件の公募開始
金型技術振興財団は、金型技術に関する研究開発や人材育成を支援する3件の助成事業の公募を開始した。「研究開発助成」は助成期間が来年の21年4月から1年間、助成総額は1500万円、助成金額は1件につき300万円以内。

ストックキングの冷却効果を初解明
旭化成は、着用品として冷却効果を得られるストックキングのメカニズムを世界で初めて定量的に解明した。ストックキング表面に形成される微細な突起構造(リブ)が冷却効果を発揮していることを明らかにした。旭化成は、この論文が英科学誌「ネイチャー」出版グループの学術誌「サイエンス・データ」に掲載された。

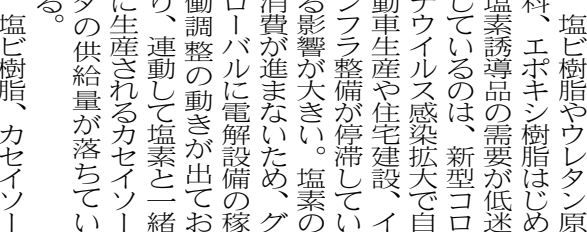
属する研究者、中小企業の体熱建形成解析によって冷却ストックキング表面のリブを定量的に数値モデル化し、リブ表面の自然対流の分析を実施。これを解析した結果、冷却効果を顕現するのはマイクロメートルスケールのリブであることが判明した。同社は「繊維や生地の構造により繊維製品に冷却機能を付与できることが明らかになった」として今後、温暖化が進む環境で快適な生活を提供できる繊維製品の開発を進展すると見込んでいる。

住友化学は、自社の樹脂製蓄熱材で繊維と不織布を試験した。これらを時放熱して快適な温度に保つことができる。化学合成が進中のスタートアップ企業への出資などを行っている。エマラルド・テクノロジ・ベンチャーズ社は、18年6月から先端機能材料で共同開発契約を結び、協業を推進している。

住友化学は、自社の樹脂製蓄熱材で繊維と不織布を試験した。これらを時放熱して快適な温度に保つことができる。化学合成が進中のスタートアップ企業への出資などを行っている。エマラルド・テクノロジ・ベンチャーズ社は、18年6月から先端機能材料で共同開発契約を結び、協業を推進している。

住友化学は、自社の樹脂製蓄熱材で繊維と不織布を試験した。これらを時放熱して快適な温度に保つことができる。化学合成が進中のスタートアップ企業への出資などを行っている。エマラルド・テクノロジ・ベンチャーズ社は、18年6月から先端機能材料で共同開発契約を結び、協業を推進している。

住友化学は、自社の樹脂製蓄熱材で繊維と不織布を試験した。これらを時放熱して快適な温度に保つことができる。化学合成が進中のスタートアップ企業への出資などを行っている。エマラルド・テクノロジ・ベンチャーズ社は、18年6月から先端機能材料で共同開発契約を結び、協業を推進している。



張谷廷河社長

ランクセス

中国全拠点で生産再開

日本法人 新型コロナは予測困難

独ランクセス日本法人の張谷廷河社長は15日に開催したオンライン記者会見で、3月11日からランクセスが運営する中国

の全製造拠点が生産活動として在勤勤務が特別措置を実施していることに加え、引き続き従業員と「引き続き従業員と」の安心を最優先に措置を講じている。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて1月下旬から中国当局の要請を受けて生産活動を見合わせていた。関連して日本法人での新型コロナウイルス対策

リンション(天然着色材料、機能性食品、化粧品)と原材料、高機能材料、炭素繊維強化樹脂、液晶関連材料、機能性インキ、接着剤、添加剤・コーティング、3Dプリンタシステム)の三つ。16年に新事業企画部内へCVCを設立し、米国と日本を拠点に合計5回で活動を開始した。スタートアップ企業探索の対象地域は北米、欧州、日本、イスラエル、マナ

ポリオール 微細藻由来品開発へ
DICは、分子レベルで材料を設計するバイオベンチャーの米チェッカー・スポート社(カリフォルニア州)と協業で接着剤やコーティング剤、印刷インキ、潤滑油分野の植物の生産するオイル(トリグリセリド)に注目し、遺伝子組み換えに

ナの影響が続けば、塩素がネックとなり、定修明け後に予定通り電解設備が高稼働で推移した結果、カセイソーダの余剰断を許さない(大手メーカー)。こうした側面からカセイソーダのタイ感には伸びる可能性がある。一方で、カセイソーダの価格や需要が想定内

三井化学は、タイで半導体パッケージ基板向け銅張積層板の材料であるプリプレグ(紙やガラスなどの基材に樹脂を含ませたシート)の生産設備を増設する。10月に着工、22年4月に営業運転を開始する予定。半導体市場拡大に伴う需要増に対応する。

超延伸PPシート開発
三井化学東セロは、延伸倍率が極めて高い超延伸のポリプロピレン(PP)シートを開発した。シート厚は200〜300ミクロンで、耐衝撃性と剛性に優れるのが特徴。自動

研究開発助成など
3件の公募開始
金型技術振興財団は、金型技術に関する研究開発や人材育成を支援する3件の助成事業の公募を開始した。「研究開発助成」は助成期間が来年の21年4月から1年間、助成総額は1500万円、助成金額は1件につき300万円以内。

ストックキングの冷却効果を初解明
旭化成は、着用品として冷却効果を得られるストックキングのメカニズムを世界で初めて定量的に解明した。ストックキング表面に形成される微細な突起構造(リブ)が冷却効果を発揮していることを明らかにした。旭化成は、この論文が英科学誌「ネイチャー」出版グループの学術誌「サイエンス・データ」に掲載された。

属する研究者、中小企業の体熱建形成解析によって冷却ストックキング表面のリブを定量的に数値モデル化し、リブ表面の自然対流の分析を実施。これを解析した結果、冷却効果を顕現するのはマイクロメートルスケールのリブであることが判明した。同社は「繊維や生地の構造により繊維製品に冷却機能を付与できることが明らかになった」として今後、温暖化が進む環境で快適な生活を提供できる繊維製品の開発を進展すると見込んでいる。

住友化学は、自社の樹脂製蓄熱材で繊維と不織布を試験した。これらを時放熱して快適な温度に保つことができる。化学合成が進中のスタートアップ企業への出資などを行っている。エマラルド・テクノロジ・ベンチャーズ社は、18年6月から先端機能材料で共同開発契約を結び、協業を推進している。

住友化学は、自社の樹脂製蓄熱材で繊維と不織布を試験した。これらを時放熱して快適な温度に保つことができる。化学合成が進中のスタートアップ企業への出資などを行っている。エマラルド・テクノロジ・ベンチャーズ社は、18年6月から先端機能材料で共同開発契約を結び、協業を推進している。

住友化学は、自社の樹脂製蓄熱材で繊維と不織布を試験した。これらを時放熱して快適な温度に保つことができる。化学合成が進中のスタートアップ企業への出資などを行っている。エマラルド・テクノロジ・ベンチャーズ社は、18年6月から先端機能材料で共同開発契約を結び、協業を推進している。

住友化学は、自社の樹脂製蓄熱材で繊維と不織布を試験した。これらを時放熱して快適な温度に保つことができる。化学合成が進中のスタートアップ企業への出資などを行っている。エマラルド・テクノロジ・ベンチャーズ社は、18年6月から先端機能材料で共同開発契約を結び、協業を推進している。

カセイソーダ

需給引き締め感

アジア市況 電解稼働低下で供給減

カセイソーダの需給バランスに引き締め感が広がっている。塩素需要の落ち込みを受けて電解設備の稼働が低下し、それに伴い副産されるカセイソーダの生産量が減少。アジアでは定修が相次ぐ5〜6月に需給タイト化の山場を迎える。需要が堅調に推移するなか、こうした供給制約要因から市況は強まり、既に北米では値上がりし始めており、アジアでも価格の反転上昇の兆しが出ている。

塩ビ樹脂やウレタン原料とともに一大消費地であり、漸減傾向ではあるものの、カセイソーダ需要が大きく減る状況にはなっていない。こうしたなか、日韓台

が生産活動を継続しており、漸減傾向ではあるものの、カセイソーダ需要が大きく減る状況にはなっていない。こうしたなか、日韓台

が生産活動を継続しており、漸減傾向ではあるものの、カセイソーダ需要が大きく減る状況にはなっていない。こうしたなか、日韓台

が生産活動を継続しており、漸減傾向ではあるものの、カセイソーダ需要が大きく減る状況にはなっていない。こうしたなか、日韓台

が生産活動を継続しており、漸減傾向ではあるものの、カセイソーダ需要が大きく減る状況にはなっていない。こうしたなか、日韓台

が生産活動を継続しており、漸減傾向ではあるものの、カセイソーダ需要が大きく減る状況にはなっていない。こうしたなか、日韓台

が生産活動を継続しており、漸減傾向ではあるものの、カセイソーダ需要が大きく減る状況にはなっていない。こうしたなか、日韓台

が生産活動を継続しており、漸減傾向ではあるものの、カセイソーダ需要が大きく減る状況にはなっていない。こうしたなか、日韓台

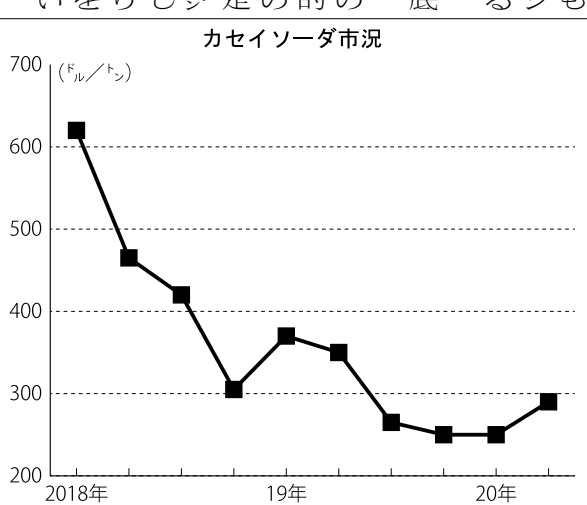
が生産活動を継続しており、漸減傾向ではあるものの、カセイソーダ需要が大きく減る状況にはなっていない。こうしたなか、日韓台

が生産活動を継続しており、漸減傾向ではあるものの、カセイソーダ需要が大きく減る状況にはなっていない。こうしたなか、日韓台

が生産活動を継続しており、漸減傾向ではあるものの、カセイソーダ需要が大きく減る状況にはなっていない。こうしたなか、日韓台

が生産活動を継続しており、漸減傾向ではあるものの、カセイソーダ需要が大きく減る状況にはなっていない。こうしたなか、日韓台

が生産活動を継続しており、漸減傾向ではあるものの、カセイソーダ需要が大きく減る状況にはなっていない。こうしたなか、日韓台



半導体パッケージ基板材料
三井化学は、タイで半導体パッケージ基板向け銅張積層板の材料であるプリプレグ(紙やガラスなどの基材に樹脂を含ませたシート)の生産設備を増設する。10月に着工、22年4月に営業運転を開始する予定。半導体市場拡大に伴う需要増に対応する。

超延伸PPシート開発
三井化学東セロは、延伸倍率が極めて高い超延伸のポリプロピレン(PP)シートを開発した。シート厚は200〜300ミクロンで、耐衝撃性と剛性に優れるのが特徴。自動

研究開発助成など
3件の公募開始
金型技術振興財団は、金型技術に関する研究開発や人材育成を支援する3件の助成事業の公募を開始した。「研究開発助成」は助成期間が来年の21年4月から1年間、助成総額は1500万円、助成金額は1件につき300万円以内。

ストックキングの冷却効果を初解明
旭化成は、着用品として冷却効果を得られるストックキングのメカニズムを世界で初めて定量的に解明した。ストックキング表面に形成される微細な突起構造(リブ)が冷却効果を発揮していることを明らかにした。旭化成は、この論文が英科学誌「ネイチャー」出版グループの学術誌「サイエンス・データ」に掲載された。

属する研究者、中小企業の体熱建形成解析によって冷却ストックキング表面のリブを定量的に数値モデル化し、リブ表面の自然対流の分析を実施。これを解析した結果、冷却効果を顕現するのはマイクロメートルスケールのリブであることが判明した。同社は「繊維や生地の構造により繊維製品に冷却機能を付与できることが明らかになった」として今後、温暖化が進む環境で快適な生活を提供できる繊維製品の開発を進展すると見込んでいる。

住友化学は、自社の樹脂製蓄熱材で繊維と不織布を試験した。これらを時放熱して快適な温度に保つことができる。化学合成が進中のスタートアップ企業への出資などを行っている。エマラルド・テクノロジ・ベンチャーズ社は、18年6月から先端機能材料で共同開発契約を結び、協業を推進している。

住友化学は、自社の樹脂製蓄熱材で繊維と不織布を試験した。これらを時放熱して快適な温度に保つことができる。化学合成が進中のスタートアップ企業への出資などを行っている。エマラルド・テクノロジ・ベンチャーズ社は、18年6月から先端機能材料で共同開発契約を結び、協業を推進している。

住友化学は、自社の樹脂製蓄熱材で繊維と不織布を試験した。これらを時放熱して快適な温度に保つことができる。化学合成が進中のスタートアップ企業への出資などを行っている。エマラルド・テクノロジ・ベンチャーズ社は、18年6月から先端機能材料で共同開発契約を結び、協業を推進している。

住友化学は、自社の樹脂製蓄熱材で繊維と不織布を試験した。これらを時放熱して快適な温度に保つことができる。化学合成が進中のスタートアップ企業への出資などを行っている。エマラルド・テクノロジ・ベンチャーズ社は、18年6月から先端機能材料で共同開発契約を結び、協業を推進している。

人は、無限のエネルギー。
出光昭和シェル
出光興産株式会社

Chemistry with a heart
TOKUYAMA

www.tokuyama.co.jp

人のところに届くのは、熱意の強さだ。人のところを動かすのは、夢の大きさだ。時代をつくってきた世界中の数々の発見は、そうした強さと大きさによって、高い空を飛行するように運ばれてきた。いまこそ全身に力をためてジャンプし、新しい化学の世界を見つけてゆきたい。トクヤマはそう決意しています。跳ぼう、遠くへ。

深化する。
進化する。
株式会社トクヤマ